



暑さの厳しい8月が終わりましたが、まだまだ残暑が続きます。コロナ禍の状況の中でも元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠を取るなどして、気温の変化で体調を崩さないよう気を付けていきましょう。

防災の日

9月1日は「防災の日」です。いざという時に備えて、ぜひ家族全員で確認をしてください。

〈非常時の持ち出し品の準備〉

リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう



〈避難する場所〉

避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう



〈地震で倒れやすい物がないか〉

棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物などは固定するなどの工夫をしましょう



〈家族はぐれた場合の連絡方法〉

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう



鼻水のおはなし

季節の変わり目やアレルギーなどにより、子どもは鼻水が出やすくなります。鼻水の他に、発熱、喉の痛み、食欲不振、黄色や緑色の粘り気のある鼻水が続くなどの症状があれば病院で診てもらいましょう。

どうして鼻水が出るの？

鼻水は体を守るために必要なもので、鼻や喉に付いたウイルスを排除するために出るものです。また、炎症を起こした鼻の粘膜を守る役目もあります。

小さい子はこまめに吸い取って！

まだじょうずに鼻をかめない子は、ティッシュでこまめに拭いてあげたり、鼻水吸引器などを使って吸い取ってあげたりしましょう。また、頻繁に鼻水を拭いていると、鼻の下の皮膚が赤くただれてくるので、その場合は炎症を抑える軟膏を塗ってあげましょう。



発熱時の対応

発熱は、病気や体の異常を知らせるサインであると同時に、体内に侵入してきた細菌やウイルスと戦って免疫力を高め、体を守っている最中の状態でもあります。一時的に熱が出ることもあります。

子どもは、体温調節の機能がまだ未熟です。運動後は体温が高くなっていることもあります。

園医とも相談をして、保育中に発熱があった場合は、普段通りの様子でしたら30分以上様子を診させていただいてから、再度測定をしています。37.5度以上あった場合は、お迎えをお願いすることになりますのでご了承ください。



お家でのケア

こまめに水分補給を行いましょう。熱の始めで寒気を感じている時は温かくし、熱が上がると手足が温かい時は薄着にします。汗をかいたら衣服を取り替えましょう。

熱冷却シートの使い方



発熱した時は額を冷やすのが一般的ですが、動脈が通る首の付け根や脇の下、股の付け根などを冷やすとより効果的です。ただ、寒気で体が震えている時はまだ熱が上がりがきいていない状態です。まずは体を温め、熱が上がりがきいてから熱冷却シートを使いましょう。